

平成28年度 鴨川市立江見小学校 学校経営の基本構想

学校教育目標
夢に向かって「かしこく・やさしく・たくましく」生きぬく子ども達の育成
元気いっぱい・やさしさいっぱい・笑顔いっぱい江見小

《めざす児童像》

【かしこい子】	【やさしい子】	【たくましい子】
①夢の実現に努力する子 ②自ら学び続ける子 ③共に学び合える子 ④進んで表現できる子	①思いやりのある子 ②進んで挨拶する子 ③感謝の心を持てる子 ④進んで協力して働く子	①進んで運動する子 ②粘り強くがんばる子 ③健康安全に気をつける子 ④何にでもチャレンジする子

《めざす学校像》

- ①分からないことが分かるようになる。できなかったことができるようになる学校
- ②保護者が通わせたい、安心で安全な学校
- ③地域の方々と心が通じ合う温かな学校
- ④職員が働きやすいやりがいのもてる学校

《めざす教師像》

- ①心身ともに健康で子どもと歩む明るい教師
- ②研修と研鑽に励み、授業で勝負できる教師
- ③心と心を合わせ、進んで協働できる教師
- ④保護者や地域の方々から信頼される教師

経営方針 子ども達は、家庭・地域・学校の宝物！
その子ども達を笑顔にするための学校づくりの推進

- 学校に来るのが楽しい！【認める・褒める・励ます言葉が聞こえる】
 - ・子ども達が目を輝かせ夢中で学び合い、教師も子どももわくわくする授業の創造
 - ・子どもとの心のふれあいを大切に、厳しさの中にも温かみのある信頼に支えられた指導
 - ・安全で安心な学校づくりの推進（安全教育、健康教育、防災教育の推進）
- 友達と一緒に楽しい！【豊かな心を育てる】
 - ・いじめ防止のための対策と指導（いじめ防止基本方針）
 - ・コミュニケーション能力の育成
- 家に帰るのが楽しい！【信頼される学校】
 - ・保護者とともに考える子育ての推進
 - ・学校の状況や子どもの様子の情報提供
 - ・家庭から子どもを学校へ押し出す力の推進
- 地域で過ごすことや地域の人に教えてもらうことが楽しい！【地域との連携と協働】
 - ・地域の教育力を活用し、地域を愛する子ども、地域に育まれる子どもの育成めざした教育課程の編成と実践
- 全職員が全ての児童の担任【チーム江見小】
 - ・問題意識を共有し、共に、学び合い、高め合う教師集団への成長
 - ・組織マネジメントの機能を生かした教育活動の質的改善と校務運営の活性化

具現化の方策 ★は今年度の重点：キーワード「つながる」「深める」

かしこい子（確かな学力の向上）：知 ※学ぶ意欲と基礎学力の定着を図る

- ①学び合い学習の推進（自分の考えを持ち、表現し、交流することで広げ深める）
- ②基礎的・基本的な知識・技能の習得（学びタイムの充実）
- ③知識・技能を活用し、思考力や判断力、表現力の育成（問題解決学習・体験学習）
- ④指導目標の明確化と指導方法の工夫改善（目標に応じた授業構成、展開等の工夫）

- ⑤指導と評価の一体化（何ができないのか。どうすればできるようになるのか）
- ⑥家庭学習充実への支援（家庭学習の手引きの活用、計画的な宿題、自学の指導等）

やさしい子（豊かな心の育成）：徳

※全ての教育活動の場で育む

- ①挨拶・返事の徹底（時と場に応じた挨拶と返事の指導）
- ②多様な体験活動の実施（栽培活動、宿泊活動、異校種間交流、地域探訪等）
- ③豊かな人間関係づくり（ピアサポート、児童会活動、異学年交流、縦割り活動等）
- ④読書活動の充実（朝の読書、読み聞かせ、ブックウォーク等）
- ⑤歌声の響く学校・学級（朝や帰りの会での歌、歌声集会）
- ⑥学校全体で進める道徳教育（家庭や地域との連携、指導方法の改善、授業公開）
- ⑦教育相談活動の充実（確かな児童理解、いじめの早期発見と早期対応）

たくましい子（健やかな体の育成）：体

※健やかな体は全ての基本

- ①基本的な生活習慣の確立（家庭との連携、歯磨き、うがい、手洗いの徹底等）
- ②正課体育の充実、運動の日常化と遊びの励行（45分の流れの明確化、5分間走の励行、外部講師の活用、チャレンジin鴨川への挑戦、遊びの工夫）
- ③食育・健康づくりの推進（給食指導、生活習慣病対策、健康推進教室、啓発等）
- ④地区連携による健康教育の推進（鴨川中学校区学校保健委員会の活動の推進）

ふるさと大好きな子

※ふるさとを愛し、ふるさとを誇れる子

- ①ふるさとの自然、文化、人に学ぶ活動（花卉栽培、磯体験、高鶴山登山、獅子舞等）
- ②地域と一体となった教育活動の推進（運動会、バザー、地域清掃、地域の行事や活動への参加等）
- ③自己の生き方を考えさせるキャリア教育の充実（職場体験学習、夢や自尊感情を高める指導）

特別支援教育の推進

※適切な指導と必要な支援

- ①特別支援教育コーディネーターの役割の明確化（学校としての体制づくり）
- ②校内委員会の充実と関係諸機関との連携（支援体制の整備）
- ③児童一人一人の教育的ニーズに対応した支援体制の充実（合理的配慮と環境整備）
- ④個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成と活用（さらに実効性を高める）

保幼小中一貫教育の推進

※0歳から15歳までのを見通した教育活動

- ①共通の取り組み事項についての理解と実践（視線・声量・反応、家庭学習の習慣化）
- ②児童・生徒及び教職員の小中の連携活動と小学校間の連携活動の推進



経営の重点

高め合う教師集団	家庭・地域との連携	学校評価の活用	安全・安心な学校
<ul style="list-style-type: none"> ○日々の授業改善と校内研修の充実 ○目的を意識したPDCAサイクルの活用 ○温かく支え合う人間関係づくり ○サービスの厳正とモラルの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の教育力の導入 ○授業公開と迅速な保護者への連絡 ○積極的な情報発信と広報活動の充実 ○登下校の見守り 	<ul style="list-style-type: none"> ○評価の結果から課題を適切に把握する。 ○課題を踏まえた学経営計画の立案と改善 ○成果の検証と公表 	<ul style="list-style-type: none"> ○徹底した安全点検と日常的な安全確保 ○災害から身を守る安全指導の充実 ○登下校の安全確保 ○心が通う環境づくり ○報告・相談・連絡の徹底